

酬改定を踏まえて～」と題し、厚生労働省大臣官房厚生科学課長の眞鍋 馨先生にご講演頂きました。シンポジウムには、人材の育成と確保、DX、BCP等、学術集会テーマに合わせた演題を5題発表を頂き、活発なディスカッションを交わすことができました。一般演題には22題の発表を頂き、こちらも多くさんの意見交換を行うことができました。ランチョンセミナーには、テルモ株式会社およびニプロ株式会社に協賛頂き、2題の発表を行うことができました。

開催にあたり、多大なるご支援とご協力をいただきました関係者の皆様には心より感謝を申し上げます。

第22回島根県支部学術集会

学術集会会長：公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院院長 齊藤洋司

2024年9月28日(土)に島根県芸術文化センターグラントワにおきまして第22回島根県支部学術集会を開催致しました。学術集会テーマを「最先端の地域包括ケアの実践～島根から全国へ～」とし、279名のご参加をいただきました。特別講演では、「清流高津川の底力～映画作りで感じた人生の真の豊かさとは?～」をテーマに映画監督の錦織良成監督よりご講演いただきました。全国に先駆け少子高齢化が深刻化する島根県における地域包括ケアの在り方について、医療とは違った視点から考える契機となる大変貴重なご講演となりました。また「地域包括ケアの未来を拓く～島根の新しい取り組みから学ぶ～」をテーマとしたシンポジウムでは、医師・コメディカル・行政の各立場からご発表いただき、活発な意見交換の場となりました。さらに、一般演題では34演題の発表があり、盛会のうちに終了することができました。

本学術集会の開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様には心より感謝を申し上げ、開催報告とさせていただきます。

第16回宮城県支部学術集会

学術集会会長：石巻市立病院病院長 椎葉健一

2024年10月5日(土)、こもればの降る丘・遊楽館(石巻市)におきまして、第16回宮城県支部学術集会を開催し、約90名のご参加をいただきました。

今回のテーマは、団塊の世代の方が75歳以上の後期高齢者となることで起きる様々な社会課題と向き合いながら、ニーズに寄り添った医療の提供など変化に対応していくことが求められていることに鑑み、「高齢社会への対応」としました。

特別講演では、国立病院機構東京医療センターの林 智史先生より「ユマニチュード～あなたは大切な人ですと伝えるケア～」と題し、効果的な認知症ケア技法や寄り添った医療に関する取組事例など、大変興味深いお話

を伺うことができました。

また、主要演題、一般演題合わせて12題の発表があり、活発な情報交換と討論が行われ、盛会のうちに終了することができました。

本学術集会を開催するにあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。

第17回三重県支部学術集会

学術集会会長：松阪中央総合病院院長 田端正己

2024年10月5日(土)に国立病院機構三重中央医療センター研修棟大会議室にて第17回三重県支部学術集会



会場風景

を開催いたしました。

テーマを「ポストコロナの病院運営～経営改善への取り組み～」とし、100名のご参加をいただきました。特別講演では、千葉大学医学部附属病院副病院長、病院経営管理学研究センター長、特任教授、ちば医経塾塾長の井上貴裕先生をお招きし「令和6年度診療報酬改定を踏まえた戦略的病院経営」と題し、ご講演をいただきました。

今回も、県内の様々な病院で働く多職種の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。本学術集会を開催するにあたり、ご協力を賜りました関係各位の皆さまに心より感謝を申し上げ、開催のご報告とさせていただきます。

第23回北海道支部学術集会

学術集会会長：市立札幌病院病院事業管理者 西川秀司

2024年10月12日(土)、市立札幌病院講堂にて「組織のチカラで進めよう病院経営－信頼される医療をめざして－」をテーマ



会場風景

に学術集会を72名の参加により開催いたしました。

特別講演は「医療サービスの提供効率を考えなければならぬ時代の病院マネジメント」と題し、高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科の木村憲洋教授に講演をいただきました。ランチョンセミナーは、市立札幌病院における腎移植マネジメントについて、市立札幌